

講演1 「未開の国産森林資源「リグニン」のポテンシャル」
SIPリグニン研究代表(森林総合研究所 木材化学研究室長) 山田 竜彦

講演2 「国産資源「粘る土」を用いた革新材料」
Clayteam 会長(産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 首席研究員) 蛭名 武雄

講演3 「リグニン産業創出にむけた新たな林業の姿」
森林総合研究所 林業工学研究領域長 陣川 雅樹

開発した製品の紹介
産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 機能素材プロセッシンググループ長 石井 亮

総合討論 「地域導入型新ビジネスによる地方創生」
司会 森林総合研究所 研究ディレクター 木口 実

併設: 開発製品の展示会



2016 10/18 火
13:30~17:15

「森」と「粘土」のハイブリッド

—リグニンとクレイで創造する地域導入型新ビジネス—

**参加無料
事前登録制**

参加登録方法:

下記メールアドレス宛に

①氏名 ②所属 をご連絡ください。

* 会場の都合により180名を超えましたら
閉め切ります。ご了承ください。

lignin2016@ffpri.affrc.go.jp



会場 石垣記念ホール
東京都港区赤坂1-9-13
三会堂ビル9F



平成26年の秋、内閣府の戦略的イノベーション創出プログラム(SIP)の元、研究コンソーシアム「SIPリグニン」は立ち上がりました。リグニンは木材の3割を占める成分で、森林国のわが国の貴重な自前の資源として期待されています。一方、粘土鉱物「クレイ」も国産の地域資源として開発が進み、コンソーシアム「Clayteam」により、革新的な材料開発が行われてきました。

今、これら2つの地域資源が融合し、地方創生に直接貢献する新しい技術として芽生えつつあります。

このシンポジウムでは、リグニンと粘土とのハイブリッドによる新材料や、それらを基盤とした地域導入型の新ビジネスの形を提案します。